

第2四半期決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成23年11月17日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

平成24年3月期第2四半期累計の概況

| 百万円 | 平成22年9月 上期実績 | 平成23年9月 上期実績 | 伸率 | 平成23年9月 上期計画 | 計画比 |
|-----------|-----------------|-----------------|------|-----------------|------|
| 売上高 | 7,625 | 8,908 | 16.8 | 8,488 | 4.9 |
| 営業利益 | 827 | 1,201 | 45.3 | 1,005 | 19.5 |
| 経常利益 | 665 | 1,046 | 57.3 | 1,000 | 4.6 |
| 当期純利益 | 298 | 548 | 83.9 | 553 | -0.9 |
| 1株当り当期純利益 | 31円60銭 | 59円31銭 | - | 59円82銭 | - |

- 前年同期比、増収増益。
- 8月10日に発表した業績修正を受けて変更された平成23年9月上旬計画対比では、営業利益が上振れした点を除けばほぼ計画通りに推移している。

四半期推移

| 百万円 | 平成23年3月 | | | | 平成24年3月 | |
|------------|---------|--------|--------|-------|---------|--------|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 |
| 売上高 | 3,530 | 4,094 | 4,418 | 4,212 | 4,313 | 4,594 |
| 営業利益 | 311 | 515 | 659 | 158 | 618 | 583 |
| 経常利益 | 204 | 461 | 639 | 218 | 620 | 426 |
| 四半期純利益 | 62 | 235 | 416 | 59 | 293 | 254 |
| 1株当り四半期純利益 | 6円65銭 | 24円95銭 | 44円15銭 | 6円25銭 | 31円42銭 | 27円85銭 |

- 平成24年3月期上半期は平成23年3月期第2四半期のような国内の特定分野における特需等の影響がなくなったが、アメリカや中国等を中心に海外売上が好調に推移した。

事業別セグメントの状況

| 百万円 | 平成23年3月 | | | | 平成24年3月 | |
|--------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 |
| 売上高 | 3,530 | 4,094 | 4,418 | 4,212 | 4,313 | 4,594 |
| ポンプ事業 | 2,867 | 3,430 | 3,717 | 3,587 | 3,781 | 3,907 |
| 電子部品事業 | 569 | 582 | 581 | 526 | 440 | 611 |
| その他 | 94 | 82 | 119 | 98 | 91 | 75 |
| 営業利益 | 311 | 515 | 659 | 158 | 618 | 583 |
| ポンプ事業 | 322 | 519 | 652 | 202 | 670 | 552 |
| 電子部品事業 | -15 | -9 | -5 | -39 | -58 | 28 |
| その他 | 5 | 5 | 13 | -4 | 6 | 1 |

- ポンプ事業は海外売上の増加や原価低減等による粗利率の改善により高い利益を維持。
- ポリシリコン向けポンプの売上が業績に寄与。
- 電子部品事業は東日本大震災の発生により、生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を当第2四半期途中まで受けたが、その後は急速に需要が回復。

所在地別セグメントの状況

| 百万円 | 平成23年3月 | | | | 平成24年3月 | |
|------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|
| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q1 | Q2 |
| 売上高 | 3,530 | 4,094 | 4,418 | 4,212 | 4,313 | 4,594 |
| 日本 | 2,049 | 2,590 | 2,250 | 2,275 | 2,092 | 2,396 |
| 欧米 | 598 | 452 | 733 | 906 | 749 | 648 |
| アジア | 882 | 1,052 | 1,434 | 1,030 | 1,471 | 1,549 |
| 営業利益 | 311 | 515 | 659 | 158 | 618 | 583 |
| 日本 | 207 | 474 | 253 | 42 | 269 | 331 |
| 欧米 | 22 | 7 | 111 | 149 | 100 | 43 |
| アジア | 83 | 165 | 208 | 74 | 178 | 176 |

注)売上高は外部顧客に対する売上高。営業利益合計は連結調整後営業利益。

- **日本**
 - 主力のポンプ事業は、海外輸出と部品・修理といったサービス売上が大きく貢献。
 - 電子部品事業での自動車用電装品は東日本大震災の発生により、生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を当第2四半期途中まで受けたが、その後は急速に需要が回復。
- **欧米**
 - 米国の石油化学業界向けを中心にケミカル機器モータポンプ、冷凍設備用アンモニアポンプ及び部品・修理といったメンテナンスの売上が好調。
- **アジア**
 - 中国市場で石油化学業界向けを中心にケミカル機器モータポンプや冷凍機・空調機器モータポンプの売上が好調。

受注・受注残の状況

| 百万円 | 平成22年9月上旬 | | 平成23年9月上旬 | | | |
|--------|-----------|-------|-----------|--------|-------|-------|
| | 受注高 | 受注残 | 受注高 | 増減率 | 受注残 | 増減率 |
| ポンプ事業 | 7,139 | 4,612 | 9,236 | 29.4% | 5,836 | 26.5% |
| 電子部品事業 | 1,139 | 186 | 1,183 | 3.8% | 201 | 7.9% |
| その他 | 204 | 138 | 168 | -17.9% | 141 | 2.2% |
| 合計 | 8,483 | 4,938 | 10,587 | 24.8% | 6,179 | 25.1% |











・ ポンプ事業

- 海外市場は需要が好調に推移しているが、国内市場は一部に復興需要はみられるものの全般に回復は遅れている。
- ポリシリコン向けは好調だが、今後欧州の財政危機等の影響を受ける懸念がある。
- 中国においては現在まで金融引き締めの影響は軽微であり、ケミカル向けを中心に高い受注高を維持しており、受注残も高い水準となっている。

・ 電子部品事業

- 自動車用電装品は東日本大震災の発生によって生産調整が実施される等サプライチェーン寸断の影響を受けたが、その影響は当初の想定よりは小さかった。しかし、今後タイの大洪水によって部品の調達に支障をきたす等により、生産調整が実施される懸念がある。

事業の動向

| 事業区分 | 主要製品など | | 今後の予想 |
|--------|---------|---|---|
| ポンプ事業 | ケミカル用 | ケミカル機器用 |  |
| | | LPG機器用 |  |
| | | 冷凍機・空調機器用 |  |
| | ケミカル以外用 | 半導体機器用 |  |
| | | 電力関連機器用 |  |
| | | 定量注入機器 |  |
| 電子部品事業 | 自動車用電装品 | |  |
| その他 | 特殊機器 | 電磁石 |  |
| | | 昇降機 |  |
| | 健康食品 |  | |

今期業績見通し

【通期予想】

| 百万円 伸率% | 23年3月期(実績) | | 24年3月期(予想) | |
|-----------|------------|------|------------|------|
| | 金額 | 伸率 | 金額 | 伸率 |
| 売上高 | 16,256 | 10.3 | 17,364 | 6.8 |
| 営業利益 | 1,645 | 57.5 | 1,994 | 21.3 |
| 経常利益 | 1,523 | 23.0 | 1,996 | 31.1 |
| 当期純利益 | 774 | 5.0 | 1,240 | 60.3 |
| 1株当り当期純利益 | 82円00銭 | | 134円81銭 | |

- ・前期比増収増益を見込む。
- ・東日本大震災の影響が限定的であったこと、また円高の影響等はあるものの海外売上が好調に推移すると判断して8月10日に業績予想を上方修正。

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

今後の成長戦略

海外事業の強化

- **北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)**

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。ただし、米国の景気回復基調の鈍化による影響が懸念される。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻
- 超大型キャンドモータポンプの受注
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充

- **中国(近年、ケミカル産業が急成長している)**

インフラ整備に係る需要は引き続き好調。石油化学業界を中心に旺盛な設備投資が見込まれるが、景気過熱抑制のための金融引き締めの影響や欧州の財政危機に伴う輸出の落ち込みによる景気減速が懸念される。

- 超大型キャンドモータポンプの新機種開発の開始(11年7月)
- 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(10年電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- 営業力強化・サービス体制の拡充(09年2月江蘇省無錫市にサービス会社設立、09年6月山東省済南市にサービス会社設立、09年10月山東省青島市に営業所新設)
- 内部管理体制の拡充(与信管理・キャッシュフロー重視・回収強化)

中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
 - 海外売上高比率55%以上(当第2四半期連結累計期間 58.9%)
 - 売上高経常利益率12%以上(当第2四半期連結累計期間 11.8%)

配当金の推移

| | 1株当たり中間配当 | 1株当たり期末配当 | 1株当たり年間配当 |
|----------|-----------|----------------|----------------|
| 平成21年3月期 | 10円00銭 | 10円00銭 | 20円00銭 |
| 平成22年3月期 | 10円00銭 | 10円00銭 | 20円00銭 |
| 平成23年3月期 | 10円00銭 | 10円00銭 | 20円00銭 |
| 平成24年3月期 | 10円00銭 | 10円00銭 (予定) | 20円00銭 (予定) |



株式会社 帝国電機製作所

決算説明

常務取締役総務本部長

柴田直行

会社概要

プロフィール

| | | | |
|-----------|--------------------------------------|--|--|
| 商号 | 株式会社 帝国電機製作所 | 昭和 14 年 9 月 | 鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曾根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立 |
| 本社所在地 | 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60 | 昭和 19 年 2 月 | 業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工 |
| 敷地面積 | 42,286 m ² | 昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月 | 自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州トバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立 |
| 設立年月 | 昭和 14 年 9 月 | 平成 6 年 12 月 | 中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立 |
| 資本金 | 2,116,823 千円(平成 23 年 9 月末) | 平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月 | 台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立 |
| 発行済株式数 | 9,450 千株 | 平成 11 年 5 月 5 月 | 大阪証券取引所市場第二部に上場 キャンドモータポンプが PTB (ドイツ国政府防爆検定機関物理工学研究所) 防爆検定に合格 |
| 業種 | 電気機械器具の製造販売 | 平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月 | 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立 |
| 決算期 | 3 月 31 日(年 1 回) | 平成 15 年 2 月 | 子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社)買収 |
| 従業員数 | 1,235 人(連結)、316 人(単体) (平成 23 年 9 月末) | 平成 17 年 2 月 | 東京証券取引所市場第二部に上場 |
| 事業所数 | 2 工場、5 営業所、3 出張所 | 平成 17 年 10 月 | 子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立 |
| 連結 | 子会社 13 社 (国内 5、海外 8) | 平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月 | 東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センターおよび 上月電装新工場竣工 |
| 社是 | | 10 月 平成 21 年 2 月 | 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立 |
| みんなで良くなろう | | 平成 21 年 6 月 | 山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立 |
| 誠実に事に当たろう | | 平成 22 年 4 月 平成 22 年 5 月 | 平福電機新工場竣工 TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得 |
| 積極的にやろう | | | |

損益計算書の概要

| | 平成23年9月 上期実績 | 前年同期比 % |
|-----------|-----------------|---------|
| 単位 百万円 | | |
| 売上高 | 8,908 | +16.8 |
| 売上原価 | 5,374 | +14.5 |
| 売上総利益 | 3,533 | +20.6 |
| 販売費・一般管理費 | 2,332 | +10.9 |
| 営業利益 | 1,201 | +45.3 |
| 営業外損益 | ▲154 | |
| 経常利益 | 1,046 | +57.3 |
| 特別損益 | ▲50 | |
| 税引前利益 | 996 | +53.5 |
| 法人税等 | 447 | |
| 当期純利益 | 548 | +83.9 |

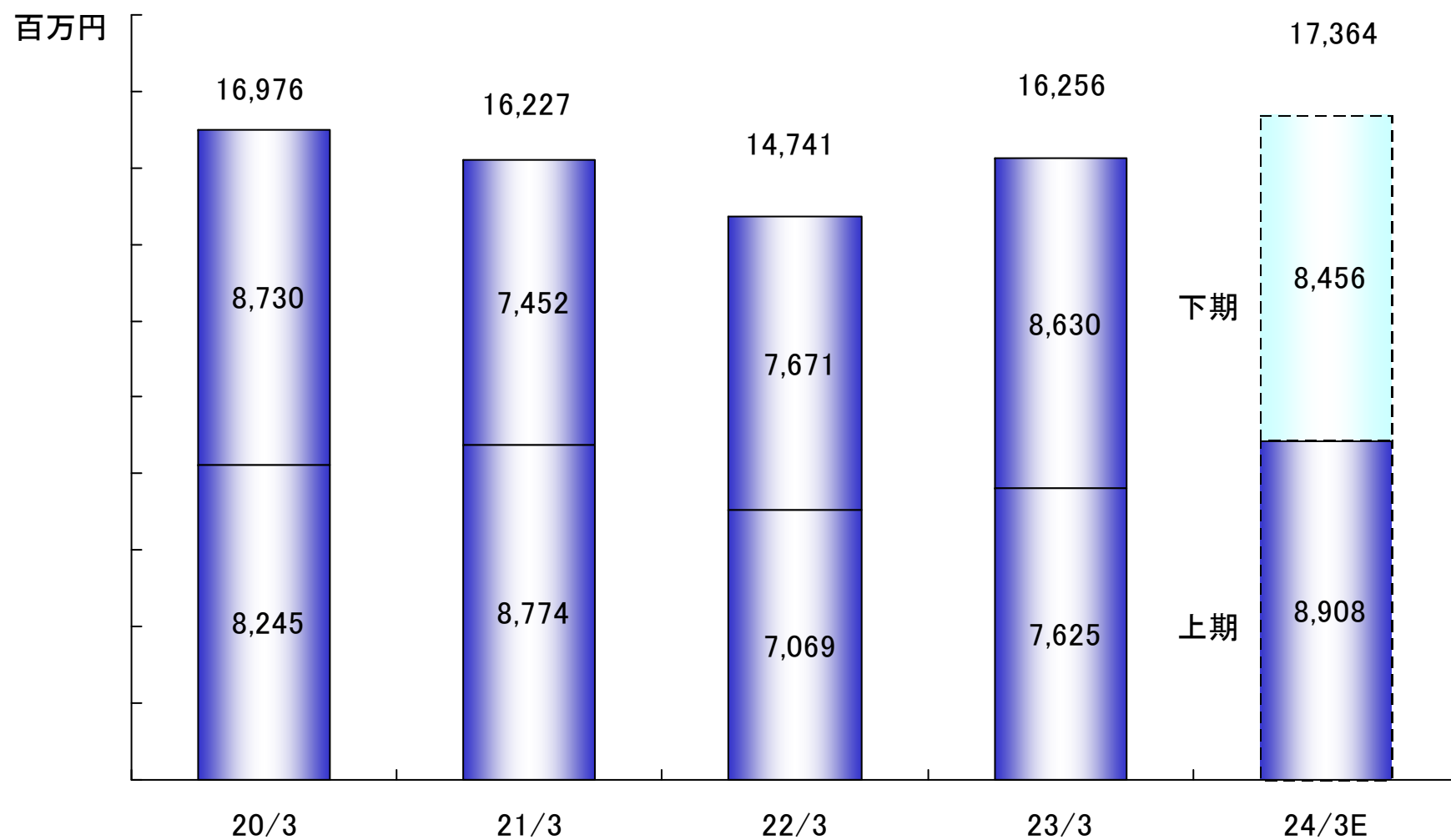
[評価為替: 1US\$=80.68円、1元=12.45円、1EUR=116.71円、1TW\$=2.80円、1KRW=0.07]

今期予想

| 単位 百万円 | 通期 | 前期比 増減% |
|-----------|--------|------------|
| 売上高 | 17,364 | +6.8 |
| 売上原価 | 10,711 | +5.5 |
| 売上総利益 | 6,652 | +8.9 |
| 販売費・一般管理費 | 4,657 | +4.4 |
| 営業利益 | 1,994 | +21.3 |
| 経常利益 | 1,996 | +31.1 |
| 当期純利益 | 1,240 | +60.3 |

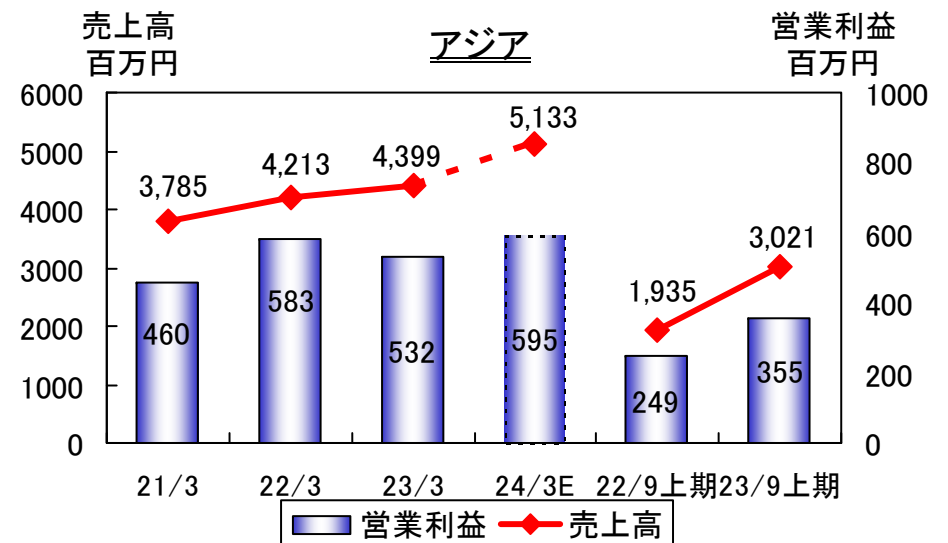
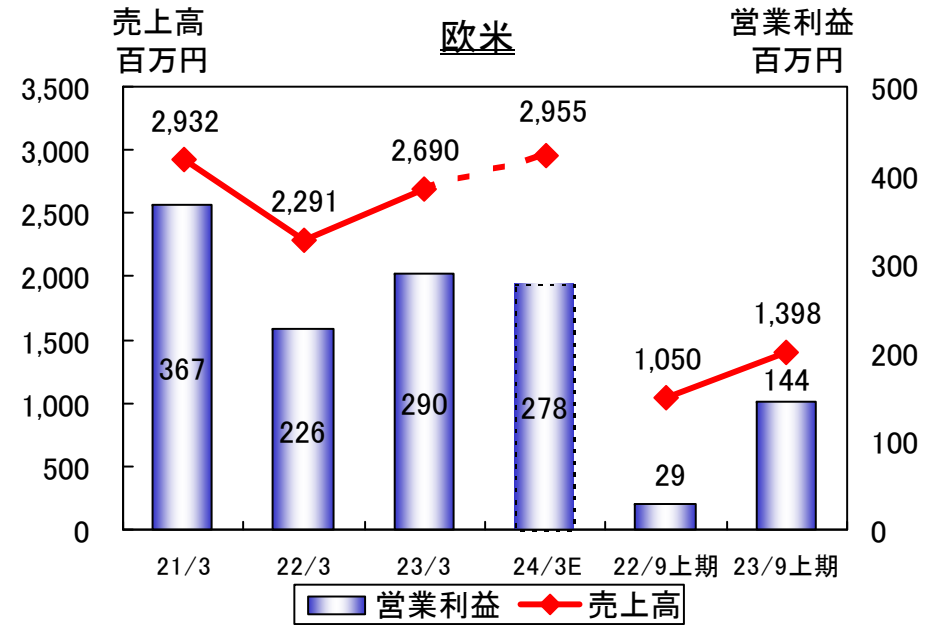
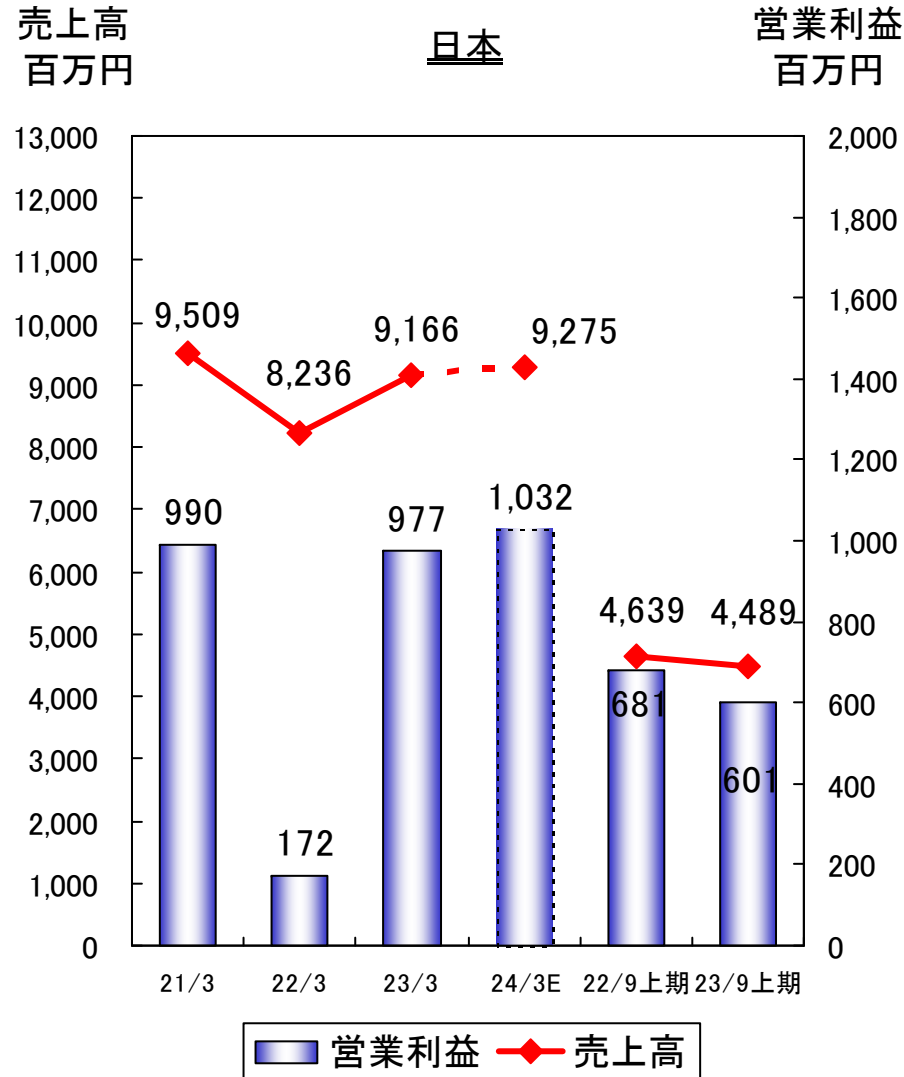
[予想為替レート: 1US\$=76.0円、1元=12.0円、1EUR=107.0円、1TW\$=2.6円、1KRW=0.07円]

売上高の推移

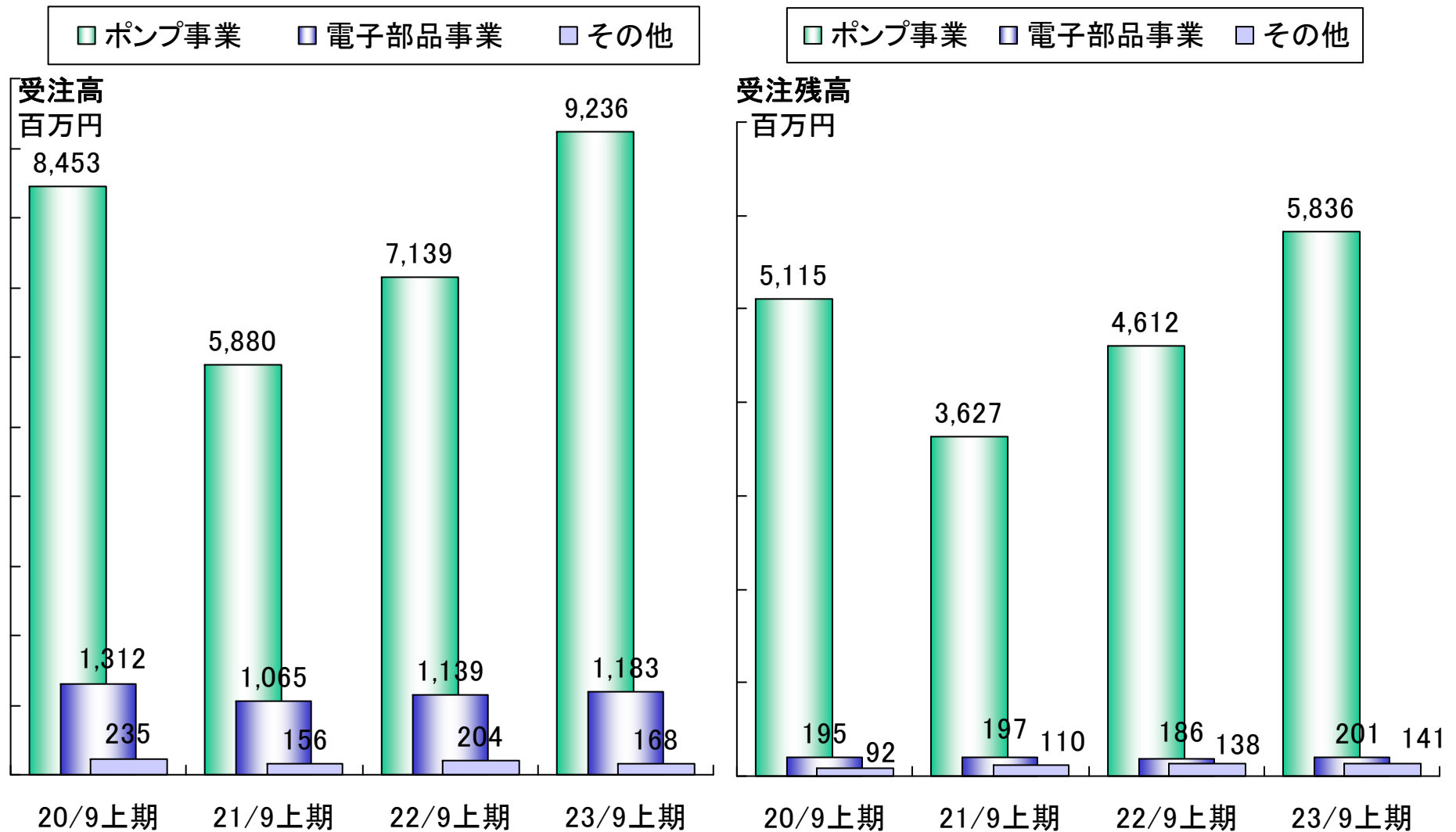


注) 予想数字は要注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください

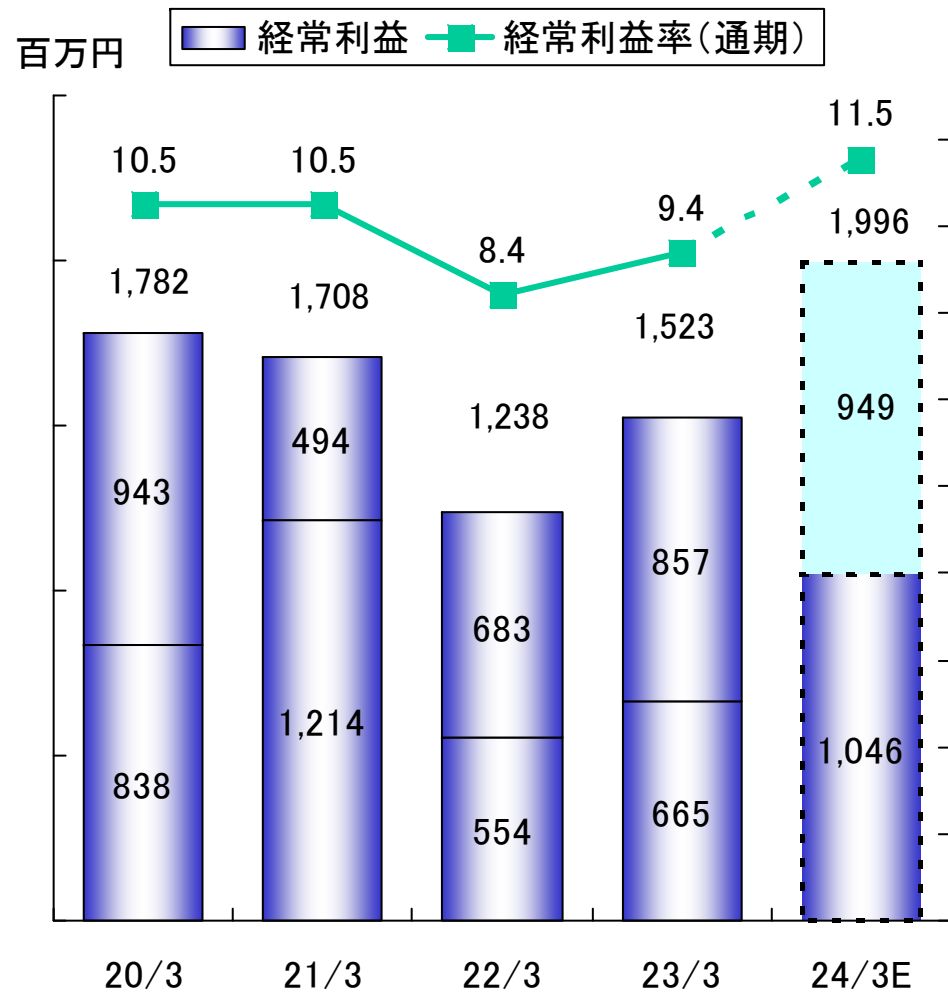
所在地別セグメント



事業の種類別受注と受注残高



經常利益



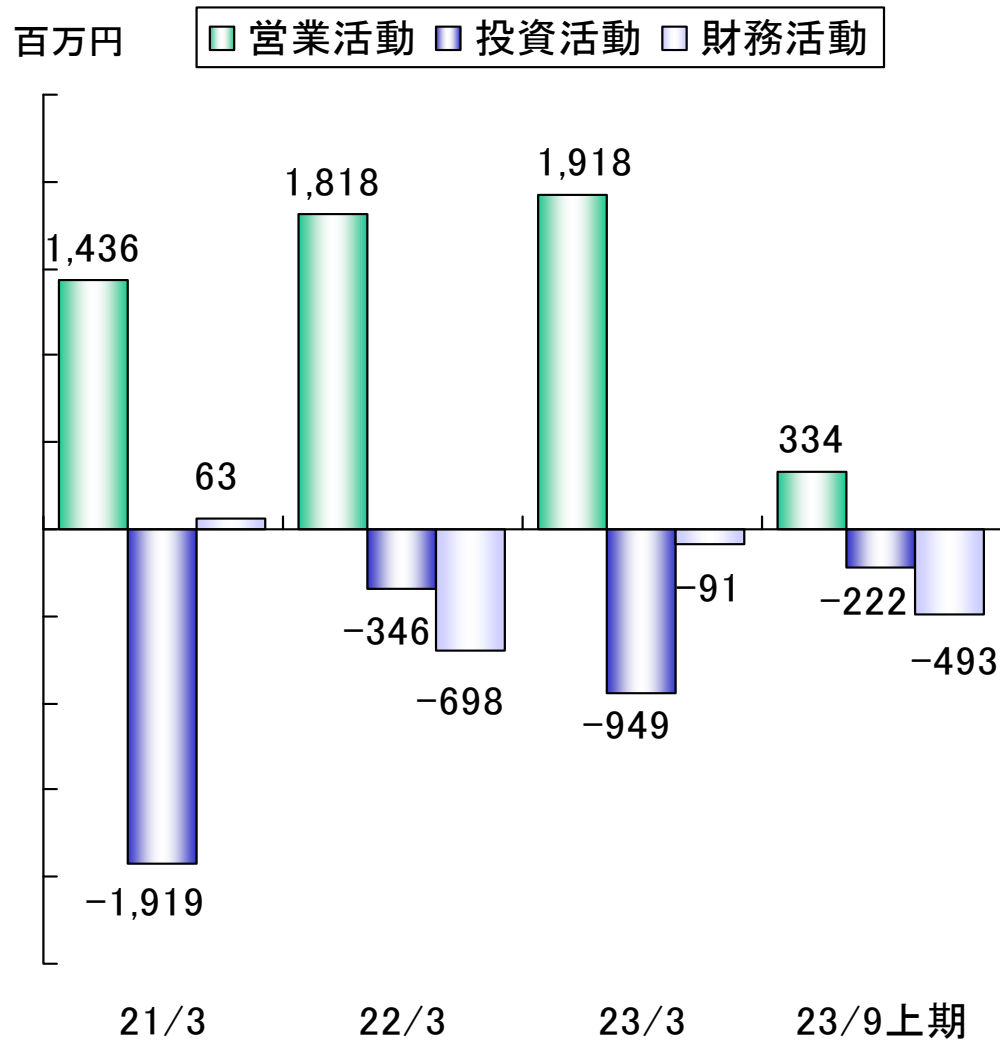
增收要因(前年同期比)

| | |
|----------------------------------|--|
| 經常利益 | +381百万円 |
| 販管費 (うち人件費 営業外収益 営業外費用) | +228百万円 + 168百万円 +20百万円 + 13百万円 |
| 親会社 国内子会社 海外子会社 | ▲19百万円 +56百万円 +258百万円 |

連結貸借対照表の概要

| 単位 百万円 | 連結 | 前期末 増減 | | 連結 | 前期末 増減 |
|-------------|--------|-----------|----------------|--------|-----------|
| 流動資産 | 12,452 | 466 | 流動負債 | 4,907 | 481 |
| 現預金 | 3,076 | ▲432 | 支払手形・買掛金 | 1,998 | 203 |
| 受取手形・売掛金 | 5,604 | 532 | 短期借入金 | 590 | 63 |
| 製品 | 875 | ▲126 | その他 | 2,317 | 215 |
| 仕掛品 | 1,586 | 409 | | | |
| 原材料及び貯蔵品 | 818 | 20 | 固定負債 | 1,314 | 95 |
| その他 | 491 | 63 | その他 | 1,314 | 95 |
| 固定資産 | 7,124 | 85 | | | |
| 有形固定資産 | 5,453 | 29 | 純資産 | 13,355 | ▲26 |
| 無形固定資産 | 491 | 182 | 株主資本 | 13,651 | 10 |
| 投資その他の資産 | 1,179 | ▲126 | その他の包括利益累計額 | ▲296 | ▲37 |
| 資産合計 | 19,577 | 551 | 負債純資産合計 | 19,577 | 551 |

キャッシュフローと設備投資



設備投資

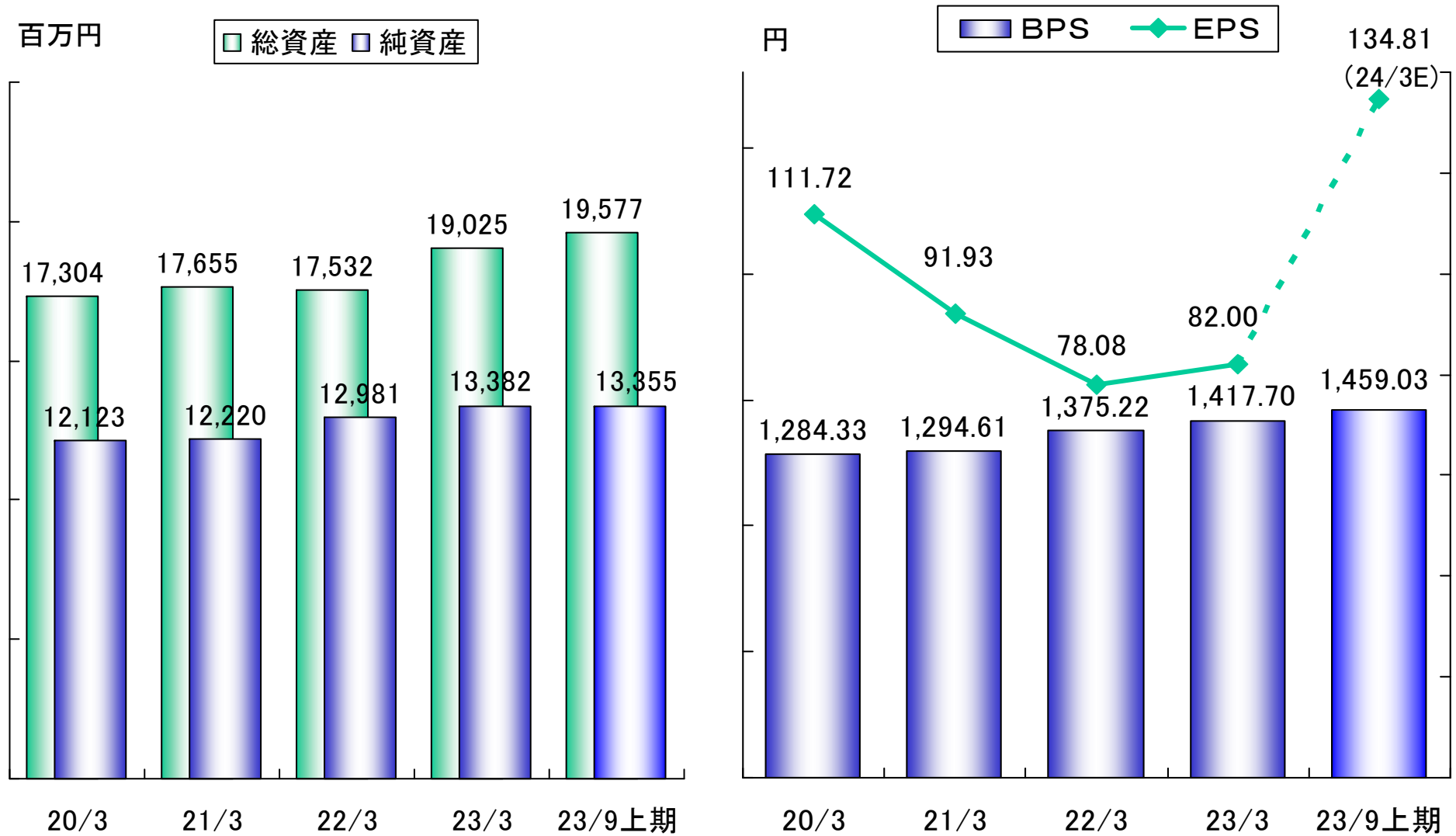
実績(当上期)

| | |
|-----|--------|
| 親会社 | 290百万円 |
| 子会社 | 184百万円 |
| 合計 | 474百万円 |

計画(通期)

| | |
|-----|--------|
| 親会社 | 390百万円 |
| 子会社 | 461百万円 |
| 合計 | 851百万円 |

総資産、純資産、BPS、EPS



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 TEIKOKU 機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所